

上場から7年、企業価値向上に向けた継続したIR活動が評価され、 ポーラ・オルビスホールディングス2度目の「IR優良企業賞」受賞

株式会社ポーラ・オルビスホールディングス（本社：東京都中央区、社長：鈴木郷史）は、2017年（第22回）「IR優良企業賞」（主催：一般社団法人 日本IR協議会）を受賞しました。当社としては、2015年に続き、2度目の受賞となります。

「IR優良企業賞」とは

IRの趣旨を深く理解し、積極的に取り組み、市場関係者の高い支持を得るなどの優れた成果を挙げた企業を選び表彰することを目的としており、今年で22回目を迎えます。審査対象は、日本IR協議会の会員企業のうち株式を公開している企業で、2017年の応募企業は284社で、大賞2社、優良企業賞7社、特別賞3社、奨励賞2社が選ばれました。



※詳細は「日本IR協議会」のホームページをご参照ください。 <https://www.jira.or.jp/>

当社の選定理由

『経営トップがIR活動に深く関与して開示レベルを高く引き上げ、資本市場の声を経営に活かす姿勢が明確である。経営トップは外国人投資家に加えて国内投資家とも対話を続け、IR部門は個人投資家向けイベントも活発化させている。経営企画・財務部門などのサポートでIR部門に必要な情報が集約され、情報開示の精度に対する高い評価を得ている。ブランド別の業績数値を掲載したファクトブックなどのIRツールへの評価も高い。』

（日本IR協議会のニュースリリースより抜粋）



女性限定 IR セミナーの様子

ポーラ・オルビスグループは、2020年に向けた長期ビジョンを掲げており、2017～2020年中期経営計画では、「国内の収益性向上」「海外事業全体での黒字化」「次世代の成長ブランド構築」を目指しています。引き続き経営基盤の強化と、資本効率改善による企業価値向上を目指します。